

【発音規則のおさらい1】単語の切れ目に騙されない！アンシェヌマン



フランス語の参考書の最初の方に必ず出てくる三つの発音規則、「アンシェヌマン」「リエゾン」「エリズィオン」。名前はわかるけど、どれがどれだかごっちゃになったり、何でこうなるのかよくわからない...という方も多いのでは？

これから

3回に分けて、こ

れらの規則を一つずつおさらいして行きましょう。まずは「アンシェヌマン」についてです。

英語にもあるアンシェヌマン

実はアンシェヌマンが起こるのは、フランス語だけではなくありません。例えば il est の場合、アンシェヌマンが起きて下線部をつなげて読みますが、考えてみれば英語の it is でも、t と i をつなげて読みますよね。

そもそも喋っている音声に切れ目はないですし、つながっている方が当然読みやすいので、分けて読む方がむしろ不自然とも言えるわけです。

これは他の発音規則にも、というか発音全般に言えることですが、フランス語を発音するときは「**単語の切れ目に騙されないこと**」がとても重要です。

文章を目で見るだけで納得せずに、ちゃんと耳で聴いて、心で感じましょう！

規則はシンプル

アンシェヌマンは enchaînement とつづり、動詞の enchaîner から派生しています。これは名詞の chaîne (鎖) が語源。つまりアンシェヌマンとは「(鎖で)つなげる」という意味なのです。

アンシェヌマンは他の規則と比べるとわりとシンプル。二つ並んでいる音をつなげて読むだけです。「発音規則」というほど大げさなものではないかもしれませんね。

あまり構えず、**自然に読む**ことを心がければ十分です。

次回はリエゾンについてです。お楽しみに！

執筆 アンサンブル講師 [Hibiki](#)



オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

